

7月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成24年7月20日(金) 午前9時30分から午前11時17分まで
- 2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 平田良枝
委員 中岡政剛
教育長 久芳昭文
- 4 その他の出席者 教育部長灘谷辰生、子ども部長柴田祐治、教育部理事兼主幹指導主事後藤正弘、教育政策課長安部武彦、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、図書課長星野忠士、市民活動推進課長磯部輝美、市民活動交流室長中村慈宏、経営企画部世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、図書課企画主査織戸由美子、郷土文化学習交流課文化財係長安部裕久、教育政策課主幹兼政策係長岡田光晴、教育政策課政策係主任主事許斐知加
- ※ 傍聴 1人

- 5 前回(6/20定例)議事録の承認(資料1)《承認》

6 報告事項

① 行政報告(資料2)

【久芳教育長】 6月21日以降の行政報告をいたします。6月29日に校長研修会がありましたが、その際に電子黒板等を使用した学校情報化モデル検証事業の委嘱状を玄海中学校区全校と自由ヶ丘中学校、河東西小学校の6校にお渡ししました。このことにより正式に情報化の研究等に取り組んでいただくこととなりますが、委嘱を受けられた学校においては、この環境を有効に活用していただき子どもたちの学力向上等の成果をあげていただき、時間はかかると思いますが、その成果をもって宗像市のすべての学校に電子黒板等を設置してICTを活用した素晴らしい授業が展開できればと考えています。また、校長研修会当日は教育委員にも参加いただき、三ツ角弁護士による講義「学校の危機管理と校長のリーダーシップ」をお聞きいただきました。危機管理に関しまして、今、大津市の中学校における「いじめ」の問題が連日報道され大きな社会問題になっていますが、宗像市におきましても、各学校長に対しそれぞれの学校の危機管理についてしっかりと検証していただき、取り組んでいただくよう改めて指導しているところです。このことについては後ほ

ど担当から対応の具体について報告いたします。7月2日に教育評価委員会を開催しました。今年度は6人の評価委員のうち、3人がお代わりになり、新たなメンバーで12事業について評価していただくことになりました。7月5日には福岡教育大学附属福岡小学校の長期派遣研修員の中間報告会に行っていました。宗像市から派遣している河東西小学校の若杉教諭の授業を見ましたが、小学1年生の学級活動で子どもたちの活発な意見をうまく引き出すなど、期待の持てる授業でした。これからの若杉教諭の成長が楽しみな授業でした。次に7月13日に開かれました管内教育長会議の内容についてご報告します。校長、教頭、主幹教諭等の管理職試験が始まりますので、このことに関する注意事項や手続きがほとんどでしたが、管理職試験以外のことで3点ほど報告したいと思います。まず1点目は、教員の不祥事防止です。6月28日に2件の懲戒免職処分と1件の減給処分が行われていますが、その事案を受けての注意喚起と指導の徹底の依頼でした。本市では、処分があった翌日の29日に開催された校長研修会において、教職員の4大不祥事であります飲酒運転、セクハラ、体罰、情報漏洩について改めて指導の徹底をお願いしました。2点目は柔道指導者養成研修会についてです。県教育委員会では柔道の指導歴がない保健体育科教員（講師）を対象に基本的技能や安全に配慮した段階的な指導方法の習得を目的とした研修を行い、教員の資質能力を高めて初めての武道教育がより安全に実施されるよう努めていきたいということでした。宗像市でも4校が柔道を教えますので、経験のない教員には受講させたいと思います。また、宗像市の柔道協会に対しても協力依頼をいたしておりまして、事故のないよう万全を期したいと思います。最後に、児童生徒の問題行動の未然防止および対応について本年4月初旬に県から通知がなされていますが、先ほどご報告しましたように、「いじめ」が大きく取り上げられておりますので、改めて指導の徹底のお願いがあったものです。

【平田委員】 今年の次世代リーダー養成塾には市内の高校生が何人参加されるのでしょうか。

【市民活動交流室長】 全国から集まった高校生165人の内、宗像市からは、宗像高校の生徒が1人、東海大学付属第五高校の生徒が1人、福岡高校に通学している宗像市在住の高校生が1人の合計3人が参加します。

【平田委員】 参加について高校生たちに積極的に働きかけましたか。

【市民活動交流室長】 直接高校に出向いて案内しています。東海大学付属第五高校では、1人分だけ参加費の10万円を同窓会で助成しているため、参加が1人になっています。宗像高校につきましても、そのような助成制度があります。過去に宗像高校から3人参加した年もありますが、ここ2年間は1人ずつの参加になっています。

【平田委員】 7月31日と8月1日の講演会には一般参加が認められているようですが、教育委員も申し込みできますか。

【市民活動交流室長】 はい。後ほど申込み方法等についてご案内させていただきます。

【平田委員】 市民活動推進プランに関して、7月に開催した意見交換会の報告を今回行ってい

ただくことになっていたと思いますが、いかがでしょうか。

【市民活動交流室長】 意見交換につきましては、市民活動やコミュニティ活動に携わっていらっしゃる方から直接意見をいただくというもので、昨年11月30日に第1回目を開催して現状と課題を聴取しました。これを基に今後の施策の方向性の考え方を提示し、7月10日に意見交換を実施しました。来週の月曜日に開催予定の部会で、今出している施策の他に考えられるものがないかを集約します。教育委員会に報告することにしてはありますが、内容をまとめきれておりませんので、でき次第、早ければ来月の定例教育委員会で報告し、ご意見をいただきたいと思います。報告が遅くなりまして誠に申し訳ございません。

【井上委員長】 7月10日に意見交換会が開催されたのであれば、直近の定例教育委員会である本日、報告していただきたかったです。以前にも予定どおりに資料を出していただけなかったことがあり、教育委員も非常に不満に思っています。できるだけ早くまとめて報告していただきますようお願いいたします。

② 後援報告（資料3）議事録なし

③ 学校改善訪問の成果と課題について（当日配布資料）

【教育部理事兼指導主事】 1学期の学校改善訪問に参加いただき、ありがとうございました。11校の訪問が終わりまして、本日、総括を出させていただいております。来月の定例教育委員会では、個表をお渡しできればと思っております。担当指導主事から、学校改善訪問の概要と課題について簡単に報告させていただきます。

【羽田野指導主事】 当日配布資料参照。議事録なし。（▲3分38秒）

【教育部理事兼指導主事】 この件につきましては、校長研修会、教頭研修会で指導をしております。

【井上委員長】 学校改善訪問については、前半が終了し、後半は夏休み後に始まります。

【教育部理事兼指導主事】 9月後半から実施する予定です。

④ いじめ問題などの対応について（当日配布資料）

【教育部理事兼指導主事】 本日資料をお配りしています。担当指導主事が大きく2点についてお話しします。いじめ問題につきましては、日頃から学校では危機管理の大きな柱として取り組んでいるところです。まずはその点についてご了解いただき、当市におけるいじめ問題の現状についてのご報告と、教育委員会としての学校に対する働きかけについて説明いたします。

【西島指導主事】 当日配布資料参照。議事録なし。（▲6分3秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。学校では校内職員研修を実施しているということですが、講師は誰が務めているのですか。管理職や生徒指導担当など、どの先生が中心になって研

修しているのか説明願います。

【西島指導主事】 事前に運営委員会において管理職も含めて情報共有を行い、定例職員会議等の時間を使って、生徒指導担当から現状や今後の対応について説明しています。

【川上委員】 気になる兆候が見られたりいじめが発見されたりした場合、いじめ対策委員会が開かれるというお話がありましたが、委員会の構成メンバーや対応される先生方について詳しく教えてください。

【西島指導主事】 対応するのは、管理職、教務主任、生徒指導担当、学級担任です。まず、報告を基に方針等を固めまして、学年の先生を交えての会議を開催する段取りをとっている学校が多いと思います。

【川上委員】 水面下で行われるいじめが最近多くなっているのではないかと思います。昔のようにあからさまに暴力をふるうのではなく、特に中学校になると、見えるところではふざけあい、見えないところで行ういじめが最近問題になっていると思いますが、そのような現場を発見した時の迅速な対応等について、発見後どのような時間の流れでどのくらいの規模で対応を行っているのかを知りたいです。学校ではおそらく対応マニュアルを作っていると思いますが、それが例えば中学校区で統一した内容になっているのか、学校ごとに内容が異なっているのかなどについてももう少し詳しく教えていただけたらと思います。口頭による説明では把握ができかねますので、できればもう少し細かい資料等を出していただきたいです。

【西島指導主事】 学校で問題が起こった時のマニュアルということですか。

【川上委員】 今年は危機管理マニュアルを整備されるというお話でしたので、現在、どこまで進んでいるのか等を含めて説明していただけたらと思います。

【井上委員長】 川上委員は学校によって対応がばらばらになってしまうことを危惧されているのだと思います。少なくとも、中学校区で統一できればいぶん違うのではないかというご意見だと考えます。

【教育政策課長】 危機管理マニュアルの見直しにつきましては、現在作業を進めているところです。各学校が整備しているマニュアルを全て教育委員会に集めまして、内容を確認しながら整理をしています。学校によって設けている項目数や内容に違いがありますので、まずは最低備えていただきたい項目をあげて、標準化を図りたいと考えております。内容につきましても、細かく設定している学校もあれば、ざっくりとした流れだけを書いている学校もありますので、学校と協議しながら、教育委員会で基本的な内容を作成した上で学校に提示し、これを基に見直しをお願いしたいと思っております。

【羽田野指導主事】 併せまして、学校で作成するいじめ問題総合対策計画について、こちらに記載している7項目をおさえていただくよう通知しています。なお、いじめ問題総合対策計画については、年度当初に教育年間指導計画の中に位置づけていただき、市教育委員会及び県教育委員会にも提出

いただいております。本日お配りしている資料はあくまでもチェックリストですが、もっと詳しく具体的なものを各学校で作成しているところです。

【井上委員長】 危機管理マニュアルの点検作業はまだ時間がかかりますか。

【教育政策課長】 はい。もう少しお時間をいただきたいと思います。

【教育総務課指導主事】 仕組みをはっきりさせ明示することはとても大事である反面、それができるまで待つのではなく、日常の授業や学級経営がいかに大切であるかについて再度念を押しているところです。子どもたちが生かされたりお互い認め合ったりする授業の形を整えること、表面化できない細かい部分をしっかり見届ける教師の目やアンテナが非常に大事だということを再度伝えております。小さな反応でも見届け、何かあれば迅速に家庭と連携を図るスタイルを今後もとっていきたいと考えています。

【平田委員】 細かい気づきを大切にしていきたいと思います。中学校になりますと、携帯電話など本当に見えない部分がありますので、そのような対策も必要ではないかと考えます。

【川上委員】 今、メディアを使ったいじめが行われています。学校では中身をなかなかチェックできないと思いますが、例えば警察のサイバー関係部署などとの連携は進んでいますか。

【西島指導主事】 インターネットなどメディアに関する対応も行っています。何か問題を発見した場合は、必ずアドレスの記録をとるように各学校に連絡しておりますし、削除手順等についても伝えていきます。先生方のパソコンで情報がすぐ取れるようなシステムも構築しておりますし、校内研修についても充実させていただきよう願っています。

【教育総務課指導主事】 併せて、ご家庭で指導していただくことも大切だと思います。例として、城山中学校では保護者あてに、メディアに関する注意喚起と対策に関する文書を出しています。そのような取り組みをモデルにして、各中学校区において取り組んでいきたいと思っております。

【教育政策課長】 学校警察連絡協議会という組織がございまして、先日も研修会に参加して県警のサイバー対策部署の担当者からお話を伺いました。必要な際には県警に連絡すれば対応していただけるとのことでした。協議会には各学校の先生方もメンバーとして入っておられますので、つながりはあると思います。

【平田委員】 学校から市教育委員会に問題行動に関する月報が提出されているということですが、そのような報告を見せていただけたら、学校現場がどういう現状にあるのかがわかり、学校の日に訪問した際に学校を見る視点も変わってくるのではないかと思います。細かくは分からなくても、不登校数などが具体的に分かればありがたいと感じますが、いかがでしょうか。

【中岡委員】 このような会議の場で出す内容なのかという点もありますので、教育委員が見せてほしいとお願いした際に対応いただければよいのではないかと思います。

【井上委員長】 学校を訪問した際に、個別に見せていただく形は取ることができると思います。

【教育部長】 細かい内容につきましては、お示しできる部分とできない部分があるかと思いま

すが、トータルの数字を提示することは可能です。

【川上委員】 個人情報が含まれており配慮が必要だと思いますので、学校に行った時に校長先生に直接、状況をお聞きすればよろしいのではないかと思います。

⑤ 通学路の安全対策の取り組み状況について（資料4）

【教育政策課長】 資料4参照。議事録なし。（▲4分7秒）

【中岡委員】 今回通学路の安全対策について検討されている内容には、どのような項目があるのか教えてください。学校では危険箇所に関するマップ等を作成していますが、その内容との整合性はとられているのでしょうか。

【久芳教育長】 各学校からは、不審者が出てくる箇所、見通しが悪いところなど、全ての危険な場所についてあがってきています。その中で、特に市で対応できるものと県に依頼しなければならないものについて要請がありました。

⑥ 平成24年度宗像市教育評価委員会の評価対象事業（平成23年度事業分）について（資料5）

【教育政策課長】 資料5参照。議事録なし。（▲1分18秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【平田委員】 3番の小学生宿泊体験事業について、「事業内容」として書かれている内容は、5月定例教育委員会で配布された事業一覧の「事業効果」と同じです。同じ年度に出された資料で「事業内容」に記載されていることが異なっているのはいかかなものかと感じました。

【教育政策課長】 確認いたします。

【川上委員】 教育評価委員会に関するスケジュールを教えてください。

【教育政策課長】 第1回会議は7月2日に開催しました。第2回会議を8月1日、第3回会議を8月27日に開催する予定です。月に1回程度の開催を予定していますので、9月下旬に第4回会議を開催し、10月にまとめまして11月の定例教育委員会、12月議会で報告を行いたいと思います。

⑦ 平成24年度小学生読書リーダー活動推進事業について（資料6）

【図書課長】 資料6参照。議事録なし。（▲1分18秒）

【井上委員長】 各地区でローテーションしていて、今年度宗像市に順番が回ってきたということですか。この取り組みはいつから始まったのですか。

【図書課長】 昨年度から取り組まれている事業で、昨年度は糟屋地区、今年度は宗像地区と糸島地区、来年度は筑紫地区で実施となっています。

【井上委員長】 昨年度は糟屋地区で実施されたということですが、反響がどうだったかお聞きになっていますか。

【図書課織戸企画主査】 直接聞いてはおりませんが、福岡教育事務所の担当の方のお話では、子どもたちが意欲的に取り組んで非常に良かったということでした。

【川上委員】 対象者が4、5、6年生で各校2人になっていますが、学校の規模に関係なく2人なのでしょうか。学校に希望をとられているのですか。

【図書課織戸企画主査】 子どもの希望だけではなく、送迎のお願いもしなければなりませんので、保護者の了解を得る必要があります。それらを踏まえて学校の先生方にお願ひし、各校から2人を決めていただいています。

【井上委員長】 昨年実施された糟屋地区と同じ条件で実施しているのですか。

【図書課織戸企画主査】 はい、そうです。

【平田委員】 川上委員がおっしゃられたとおり、各校2人となっていますが、学校規模に差がありますので市全体で配慮ができればより生かされるのではないかと思います。

【中岡委員】 本事業は福岡県の事業ですが、県から予算をつけていただいているのですか。

【図書課織戸企画主査】 特にございません。消耗品等については必要に応じて県に対応していただくか問い合わせています。

【久芳教育長】 本事業につきましては、福岡県知事の強い思いで始まった事業で、県教育委員会が計画だてて企画したものではないため、予算面では非常に厳しいと聞いていますが、市町には是非協力してほしいとの依頼がっております。

⑧ 吉武地区と金海市児童との地域交流会について（資料7）

【市民活動交流室長】 資料7参照。議事録なし。（▲3分5秒）

【井上委員長】 非常に効果も出ておりよかったですと思いますが、地域交流会の開催について事前にアナウンスがなかったのが非常に残念です。地域だけではなく学校や児童生徒が関わっており、教育委員の関心も高いため、交流会を見てみたかったと言われる委員がいらっしゃると思います。どうして事前アナウンスがなかったのですか。

【市民活動交流室長】 本事業につきましては、国際交流を担当している秘書課が主体となって進めており、当初は吉武地区コミュニティとの地域交流として考えていたところ、急遽、学校が関わることになりました。このため、最終的なスケジュールの確定が交流会の直前だったため、事前の情報提供をしないまま実施にいたりしました。誠に申し訳ございません。

【井上委員長】 教育部から離れていても業務の関連が深いということで、市民活動交流室には定例教育委員会に出席していただいています。そのような意味でも、今回のような行事等があれば事後報告だけではなく、事前にもアナウンスしていただきたかったと思います。教育委員全員が参加

できるとは限りませんが、前もって把握できれば都合をつけて見に行きたいという気持ちがありますので、今後はよろしくお願いします。

【川上委員】 定例教育委員会に間に合わなくても、FAX等でお知らせしていただけたらと思います。

【平田委員】 小中一貫教育を進める中で地域との連携もあり、今日お話を聞いて「行ってみたいかった」と思いましたので、よろしくお願いします。

⑨ 7月学校の日について（資料8）

【久芳教育長】 数校見てまいりました中で印象に残ったことを報告させていただきます。河東中学校では、学年ごとに集まって学級活動が行われていました。1学年では、たばこの害について市の保健師から非常に具体的なお話がございました。2学年では薬物乱用の防止について、薬剤師がビデオを見せながら具体的な症状や薬物依存から脱却することの困難さ等について分かりやすく講義していました。3年生は高校受験が近づいてきたということで、子どもたちの受験に対する気持ちを高める狙いもあるのではないかと思います。私立学校の先生から受験に向けての心構えや勉強方法等についてのお話がありました。この時期に学ぶのに適した大切なテーマでしたので、教員の方々にももう少し前面に出ていただけたら、子どもたちが活発に考えて意見を言うのではないかと思います。最後まで見ていませんのでどのような展開になったかは分かりませんが、専門家の話はとてもインパクトがありました。このような取組みを他の学校でもぜひ時期を捉えて行っていただきたいと思いました。河東小学校を訪問した際に、校長先生との話の中で非常にありがたく感じたことを報告させていただきます。保護者による車での送迎について、登下校時の安全確保という観点から各学校の状況をずっと見させていただいておりましたが、私自身、学校の敷地内に入ってくる保護者の送り迎えの車を怖いと感じたことがあります。現実に福島県で非常に不幸な事件も起こっており、校長先生は保護者に対して車による送迎の自粛をきちんとお願いされたそうです。今では送迎する車はほとんど見られなくなったとのことでした。子どもは歩いて登校することで体力がついたり、子ども同士のコミュニケーションが深まったりすると思います。河東小学校に限らず、他の学校でも同様の取組みをぜひ行っていただきたいと思いました。

【川上委員】 自由ヶ丘中学校、赤間小学校、南郷小学校の3校を訪問しました。自由ヶ丘中学校は先月訪問した際に学習規律が少し乱れていると感じましたので、今月も見に行きましたが、子どもたちの状態は非常に良くなっていました。中学校では珍しい光景ですが、3年生が手をあげて発表しており、積極的に参加している姿が見られてとても嬉しく感じました。あるクラスの社会科の授業で、「ヤマダ電機はなぜ安い」という導入から始まり、子どもたちが「たくさん仕入れるから」などの発言をしていました。先生が「たくさん仕入れるとなぜ安いか」とさらに突っ込み、非常に活発な授業が行われていました。2年生は中体連もあり疲れが見える状態でしたが、寝ている

子は見られず一生懸命授業を聞いていました。1年生は以前にもまして非常に良い姿勢で授業を受けていました。理科の先生が病気でお休みされており、授業が遅れてはいけないということで、校長先生と教頭先生が割り振りをして授業を行っておられましたので、代替講師が早く見つけてほしいと思いました。赤間小学校では、非常に暑い日だったにも関わらず、子どもたちは一生懸命に授業を受けていました。いつ訪問してもとても活気があるのに落ち着いた授業が行われていて、素晴らしいと思います。台湾交流で受け入れている台湾の子どもたちが、ちょうどその日の朝にハウステンボスに行ったということで、校長先生と教頭先生は少しほっとされている様子でした。台湾からは非常に素晴らしいお子さんがたくさん来ていて、4年生の児童が書いた書を見せていただきましたが、大人が書いたようなきれいに整った字でした。ちゃんと自分の印を持っていて全部に押し付けてありました。書の文化が根付いた国はすごいものだと思います。子どもたちもたくさん刺激を受けたそうです。午後からは道徳の授業を公開している南郷小学校を訪問しました。村田教頭先生がすぐに指導案を持ってきてくださり、それを見ながら授業を参観することができましたので大変ありがたかったです。どのクラスも子どもたちがのびのびと発言していて、先生も教材の工夫をされており、とても素敵な授業が行われていました。校長先生は登校時の車の問題を非常に心配されておられました。南郷小学校の横は福岡に抜ける裏道になっているため、スピードを出して走る車が多く、また、保護者の送迎の車が校内に入ってきて非常に危ないそうです。校長先生は保護者にお手紙を出そうかどうか迷っていらっしやって他校の状況を尋ねられましたので「私の知っている限り、そのような場合はお手紙を出して保護者に注意を求められています。」と申し伝えました。遅刻させたくないという保護者の気持ちも理解できますが、朝はきちんと起こして自分で登校させる方向で保護者にも注意喚起したいと言われていました。

【平田委員】 河東中学校、河東小学校、河東西小学校、南郷小学校を訪問しました。河東中学校では、玄関の前で先生と生徒が座り込んで話していました。特別な支援を要する生徒さんのようで、その姿を見てじっくり取り組んでいると感じました。3年生はとても落ち着いていました。1年生のクラスでは新任の23歳の先生がとてもがんばっている姿が見受けられました。子どもたちは、中体連でかなり疲れている様子でしたが、寝ている生徒はいませんでした。授業中に貧血で倒れた3年生の男子生徒が保健室に連れて来られていましたが、全体的に子どもたちは非常に落ち着いておりました。先ほど教育長のお話にありましたが、河東小学校では、校長先生が安全・コミュニケーション・体力を目的として子どもたちに歩いて登校させてほしいというお便りをPTAに出したところ、PTAの方が「登下校時進入規制」と書かれた看板を作ってきてくださったそうです。校門にしっかり置かれていました。「何のために」が保護者にしっかり伝われば、きちんと協力してくださるのだと感じました。河東小学校は、先生方が1つの方向に向かってがんばっておられ、とても活気を感じました。道徳の授業も非常に素晴らしく、2年生の中嶋先生のクラスでは、CDで音を流したり扇風機にテープをつけてばらばらとさせたりして、子どもたちが嵐の様子を感じら

れる工夫が凝らされていて、ずっと見ていていたいと思わせる授業が行われていました。他のクラスでも本当に素晴らしい工夫をされた授業がなされておりました。子どもたちも一生懸命考えて発表していました。3年生は少し元気がないような気がいたしました。防犯に関する授業には警察の方が来られていました。校長先生が「2学期の始業式に全員が欠けることがなく揃ってくれていることを望むばかりです」とおっしゃっておられました。河東西小学校では、校長先生が案内してくださいました。七夕集会が終わった後で振り返りが行われていましたが、子どもたちはとても落ち着いた様子でした。海外の留学生が3人来ておられましたが、とても馴染んでいて楽しそうにしていました。子育て支援の方のお部屋を案内していただきましたが、とても和やかな雰囲気でお母さん方が助かっているとおっしゃっていました。教務主任が、「9人いる20代の新しい若い先生の育成が今の課題です。学年主任の先生方がとてもがんばってくれています。」とおっしゃっていました。6年生は教科担任制で音楽の授業を行っているとのことだったので、教科担当の良さをお聞きしましたら、一貫した教育が行われることと、その時間を使って担任の先生が他教科の教材研究にじっくり取り組むことができることだと言われました。南郷小学校では道徳の公開授業が行われていました。多くの保護者が来校していて、とても活気がありました。海外留学生がいましたが、しっかり馴染んでおり非常に良い雰囲気でした。地域の中の学校だという印象を受けました。また、地域の方が後継者について触れていらっしゃったのが印象的でした。河東中学校の門のところにも「登下校時の進入規制」と書かれた看板が置かれていました。このような良い取組みを他校にも広げていければよいのではないかと思います。

【中岡委員】 道徳の公開授業がありましたので、自由ヶ丘南小学校を訪問しました。1年生から学習規律が徹底されていると強く感じました。全体的に子どもたちの授業中の姿勢の良さが感じられました。今年、子どもたちの学習に対する意識や意欲が良い意味で変化していると先生方が感じているそうです。福岡教育大学のプロジェクトにより、書写と図工の授業で専門的な指導が行われているとのことでした。先生方が子どもに対する指導法を見直す非常に良いきっかけになっているのではないかと思います。非常にたくさんの保護者が見に来られており、中にはお孫さんを連れた姿も見られましたので、学校への関心が非常に高いという印象を受けました。赤間小学校は、児童数・学級数ともに多く、教室の中がいっぱいの状態でしたが、ざわついた様子もなく意欲的に学習に取り組んでいました。子どもたちが作成した七夕飾りがホールや廊下に展示されており、季節感や明るい雰囲気を感じさせてくれました。河東中学校では、生徒昇降口を見ましたが、靴が靴箱にきちんと整理して入れられていました。学校に入ってきたところからの落ち着きという面ではとても良いと感じました。休み時間中も廊下ですれ違う子どもたちが笑顔であいさつをしてくれました。明るさやほがらかさが感じられました。

【井上委員長】 自由ヶ丘南小学校、自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘小学校の3校を訪問しました。自由ヶ丘南小学校では、5年生の外国語活動に福岡教育大学の外国人の准教授が授業研究に来られて、

ビデオ撮影等をしておりました。校長先生の話では、ALTに頼りすぎずに教師自らがどのように教材等を工夫して授業を進められるかについてアドバイスしていただけたらと期待しているそうです。先ほど中岡委員の発言にもございましたが、今年から福岡教育大学との連携事業により、図工、音楽、書写の分野で専門的な知識を取り入れているため、学校として非常に助かっているそうです。外国語活動についてもその一環として位置づけられればと言われておりました。6年生のクラスでは2クラスとも板書に少し不満足な部分がありました。小中一貫教育で学んだ「比べる活動」をもう少し維持していただきたいと思いました。自由ヶ丘中学校では校長先生が2年生の理科の授業をしておられました。非常に楽しそうに授業を進めておられ、生徒も一生懸命に植物の細胞の顕微鏡観察を行っていました。今回は校長先生とお話ができず残念でした。中学校の授業では、「比べる活動」の姿が板書の中にも見えたので良かったと思います。自由ヶ丘小学校では、校長先生と一緒に授業を参観しましたが、子どもたちが積極的に挨拶をしてくれました。教室も非常にきれいに整理整頓されており、気持ちよかったです。自由ヶ丘小学校では、6年生と3年生が2クラスのため同じ3階に教室があります。6年生がトラブル等も含めていろいろな場面で3年生に良いアドバイスをしているということで、縦割りの成果だと思いました。

⑩ 小中一貫教育について（資料9）

【羽田野指導主事】 資料9参照。議事録なし。（▲48秒）

⑪ その他

【教育政策課長】 6月末に九州電力から計画停電のお知らせがあり、急遽対応しております。特に給食と図書館の対応が必要になりますので、担当課長が報告いたします。

【学校管理課長】 6月の最終週に各学校に対して細かく指示しております。本日出させていたのは、保護者あての文書と7月17日までの給食の変更状況です。停電の時間帯は、第1時間帯から第6時間帯までであり、第4時間帯までに停電が実施された場合、給食の調理や後片付けに影響がでます。第5時間帯と第6時間帯については全く影響ありません。第1時間帯と第2時間帯は最も影響が大きい時間帯で、調理後2時間以内に喫食しなければならないという決まりがありますので、調理の工夫や献立の変更等で対応する学校もございます。学校長と栄養士の判断により学校ごとで対応が異なっています。お配りした資料の裏面にございますように、第1時間帯と第2時間帯の停電が各学校に2、3日程度ありますが、吉武小学校、東郷小学校、地島小学校、中央中学校につきましては、献立の変更で対応しています。給食時間帯の変更で対応予定の学校は、現在のところ中央中学校のみと報告を受けています。

【図書課長】 計画停電の対応として、実施された場合、停電時間中図書館は閉館とし、利用者に図書館の外へ退去していただきます。2時間前に計画停電の実施が確定しますので、館内放送、

掲示物等で利用者に周知いたします。また、各分館、コミュニティ・センター等にシステムが使用できない旨の連絡をします。停電開始15分前までに貸出処理を終了し、5分前までに利用者を館外へ誘導いたします。停電終了と同時に開館して利用者を館内に案内する予定です。

【久芳教育長】 学校給食について心配しておりましたが、幸いにして1学期中は実施されませんでした。学校は今から夏休みに入りますので、実際の対応は9月以降になります。

【世界遺産登録推進室長】 宗像市のオリジナルナンバープレートデザイン募集についての資料をお配りしています。このことに関しましては、市長部局と協議を重ねており、教育委員会への報告が遅くなりましたことをご詫言申し上げます。すでに7月15日のタウンプレスで公表していますので、簡単に説明いたします。旧宗像市と旧玄海町が合併して来年度で10年を迎えることを記念しまして、世界遺産を目指す宗像・沖ノ島関連遺産群をPRする原動機付自転車のナンバープレートを広く公募するものです。応募作品から3点ほど選び、市民投票で最優秀賞、優秀賞等を決定します。10周年以降にナンバープレートの交付を考えているところです。昨日までに市民から1点の応募があります。

【教育政策課長】 「世界一いきたい科学広場 in 宗像2012」のご案内です。東海大学付属第五高等学校が中心になって、いろいろな大学の先生方と連携して事業を企画しています。今年度から市教育委員会もお手伝いすることになり、8月11日にユリックスで開催いたします。対象は主に小学生で、規模としましては、1,000人から3,000人ぐらいの参加者を見込んでいます。詳細はお配りしたチラシをご覧ください。また、「夏の課外授業 in むなかた」のリーフレットを秘書課で作成しましたので情報提供として配布しています。

【教育部長】 今ご説明したイベントのチラシとリーフレットは、市内小中学校のすべての子どもに夏休み前に配布しています。

【観光情報文化課長】 海の道むなかた館では、夏休みに合わせてトヨタデイを設け特別体験を企画しています。車を使った体験ゲームとして車の荷物積み込みのポケット等を使った宝探しやソーラーカー等の作成を考えております。また、テムザックと提携して、小学校低学年の子どもと大人で2種類のロボットを製作する体験や古代体験等も実施する予定です。

【学校管理課長】 子ども料理名人育成塾のご案内でございます。本日配布しました「平成24年度料理名人育成塾開催要項」をご覧ください。子どもたちが料理に関心を持ち楽しく調理を学ぶことで、望ましい食生活の基礎と実践力が養われることを目的に開催するものです。今年は7月31日と8月1日、両日ともに午前9時30分からメイトム宗像で開催いたします。市内の小学校の4年生から6年生までの児童が対象で、今年度は141人の応募がありました。昨年度の117人と比べてかなり増加しています。会場の関係で1日に36人しか参加できませんので、2日間で計72人の参加予定となっております。参加者の選定につきましては、過去に参加していない児童を優先し、残りは抽選とさせていただきます。資料の裏面に昨年度の育成塾の実施計画と写真を掲載して

おります。教育委員の皆さまもお時間に余裕があればぜひいらしてください。

【市民活動交流室長】 「第9回日本の次世代リーダー養成塾聴講講義一覧」をお配りしています。塾生以外の方が聴講できる講義は12講義あり、この内4番目と6番目は公開講座として一般募集しているものです。教育委員の皆さま方にもぜひこの機会に聴講していただければと思います。希望がある場合は、開催日の前々日までに教育政策課までお申し込みください。講義の開催場所は例年どおりグローバルアリーナです。講義の5分前までに会場にお越しください。よろしく申し上げます。

【子ども部長】 お手元にイングリッシュ・サマーキャンプのチラシをお配りしております。子どもの体験活動を趣旨として今年度子ども部で実施することになりました。英語漬けの3日間ということで充実した内容となっています。事業実施後、評価をきちんと行って将来的にどのように展開するのかを検討したいと考えています。お時間が取れるようでしたら、教育委員の皆さまにもぜひ聞いていただけたらと思います。応募状況等について担当課長がご説明いたします。

【子ども育成課長】 7月2日から13日まで募集を行いまして、30人募集に対し最終的に91人の応募がありました。内訳は5年生が52人、6年生が39人です。当初から応募多数の場合は抽選としておりましたので、7月18日に市役所で公開抽選会を行い、参加者30人を決定しました。

【井上委員長】 小学校でも外国語活動を行っていますので、関心が高かったのだと思います。

【久芳教育長】 福岡県でも同じような取組みを行っておりますが、宗像市から数人の応募があったと聞いております。3人程度が選ばれて、5、6人は選考漏れになったそうです。時代の流れを感じました。

【井上委員長】 他になければ、次回の定例教育委員会は8月20日月曜日の午前9時30分から301会議室で開催します。本日はありがとうございました。

次回開催予定日 8月20日（月）午前9時30分開始

平成24年 8月20日

井上 裕之

川上 美子